



Food and Agriculture
Organization of the
United Nations

FAOのCOVID-19
対応・回復プログラム



FAOのCOVID-19 対応・回復プログラム

© FAO

世界のフードシステムは脅威にさらされています。
世界的な食料緊急事態を防ぐため、FAOはパートナー機関
に協力を呼びかけています。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）パンデミックは、人々の健康を危険にさらし、生計の基盤となっているフードシステムを破壊しています。私たちが直ちに行動を起こさなければ、過去半世紀で最も深刻で大規模な食料の世界的緊急事態に直面する可能性があります。

国連食糧農業機関（FAO）は、パンデミック下とその後の両方の状況において、全ての人々に栄養ある食料を確保するための迅速で調和のとれたグローバルな対応に向け、**13億米ドルの初期投資**への支援を要請しています。

当機関のCOVID-19対応・回復プログラムを通して、ドナーはFAOの動員力、リアルタイムのデータ、早期警告システム、技術専門性を活用し、最も必要とされる場所とタイミングでの支援を実施することが可能となります。共に、私たちは世界で最も脆弱な人々を保護し、さらなる危機を防ぎ、ショックへのレジリエンスを高め、そしてフードシステムの再構築と持続可能な変革を加速させることができます。

COVID-19は食料安全保障と栄養に対する既存の脅威をさらに悪化させています

新型コロナウイルス感染症パンデミック以前でさえ、飢餓は増加し続けていました。

2019年には、世界のほぼ10人に1人の割合である7億5,000万人近くが、深刻なレベルの食料不安にさらされていました。「世界の食料安全保障と栄養の現状：2020年報告」の初期予測では、パンデミックによる**2020年内の飢餓人口の増加が、1億3,200万人に上る可能性**があることが示唆されています。

感染拡大防止への方策は、世界のフードサプライチェーンを混乱させています。国境制限やロックダウンは収穫を遅らせ、生計手段を破壊し、食料輸送を妨げています。農家は生鮮食品を廃棄せざるをえないため、**食料ロス**は増加し、一方で都市部の人々は、新鮮で栄養価のある食料へのアクセスが困難となっています。

同時に、FAOと世界銀行の推定によると、パンデミックの経済的影響により、7,100万人から1億人、あるいはそれ以上の人々が極度の貧困に陥ると推定されています。先進国と開発途上国いずれも、失業率の急上昇、所得の損失、食費の上昇が、食料へのアクセスを危うくしています。**小規模農家とその家族、全セクターにまたがる食料関係労働者、そして商品・観光に依存する経済**は特に脆弱な状況にあります。

同様に急を要するのは、紛争や自然災害、気候変動、病害虫など既存の危機と相まって起こる複合的なパンデミックの脅威です。それらは、すでに私たちのフードシステムを逼迫させ、世界中の**食料不安**の引き金を引いているのです。

世界中で**45億人**が、仕事と生計をフードシステムに依存しています。



このパンデミックは、フードシステム内の雇用の**35%**に支障をきたす恐れがあります。



FAOは、包括的で総合的な**COVID-19対応・回復プログラム**を策定し、これを通してパンデミックの社会経済的影響に積極的かつ持続的に取り組みます。「変革のために構築する」という国連のアプローチに沿って、また持続可能な開発目標（SDGs）達成を目指しつつ、直に受けるパンデミックの影響の軽減と、**フードシステム**と生計の長期的な**レジリエンス強化**を目指します。

広範囲にわたる分析と各地域・国事務所との継続的な協議、および資金支援パートナーとの二国間協議を経て、FAOは最も脆弱な人々に迅速かつ継続的な支援を確保し、一方で二次的影響を予測するために必要となる、7つの主要な行動領域を特定しました。

FAOのCOVID-19対応・回復プログラムは、以下の**7つの主要な優先分野**に及んでいます。



世界人道対応計画

食料危機下における新型コロナウイルス感染症の影響に対処し、生計を保護する
[詳しくはこちらから](#)



意思決定のためのデータ

フードシステムと飢餓撲滅への効果的な政策支援を行うための、質の高いデータと分析を保証する
[詳しくはこちらから](#)



貧困削減のための経済的包摂と社会的保護

貧困層に焦点を当てた新型コロナウイルス感染症の対応により、パンデミック後の包摂的な経済回復を目指す
[詳しくはこちらから](#)



貿易と食品安全基準

パンデミック下とその後の状況において食料・農業貿易を促進する
[詳しくはこちらから](#)



小規模農家の回復へのレジリエンスを強化する

最も脆弱な人々を保護し、経済的回復を促進し、リスク管理能力を向上させる
[詳しくはこちらから](#)



将来の人獣共通感染症を予防する

ワン・ヘルス・アプローチを強化・拡大し、動物由来のパンデミックを回避する
[詳しくはこちらから](#)



フードシステムの変革

対応時と回復期において、変革のために構築する
[詳しくはこちらから](#)

FAOとのパートナーシップの方法

国連の専門機関として、FAOはパートナー機関に対し、組織価値の実証、影響拡大、そして開発と人道上の目標達成への機会を提供します。

FAOのCOVID-19対応・回復プログラムは、組織の動員力を活用し、各機関に合わせたパートナーシップや、ドナーと支援を最も必要とする国とのマッチメイキングなどを併せ持つ柔軟な多国間アプローチを通して、国際的な取り組みを主導します。

加盟国、他の政府機関、民間セクター、市民社会組織、学術機関、協同組合による、新たな連携を含む幅広いパートナーシップを受け付けています。

新型コロナウイルス感染症パンデミックに対応し、世界の飢餓に終止符を打ち、全ての人のより良い未来を創造するために、私たちと共に取り組むことへのご関心のある全ての機関・政府のご協力を、今お願いしています。お問い合わせは、PSR-Director@fao.orgまで。

ぜひ、私たちと共に、変革の担い手になってください。

「国際協力とパートナーシップにより、私たちが直面する課題を解決することができます。（...）今こそ、構築し、投資し、そして変革する時です。」

屈冬玉
FAO事務局長



© FAO



Some rights reserved. This work is available under a [CC BY-NC-SA 3.0 IGO](https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/3.0/igo/) licence

Recommended citation: FAO. 2020. FAOのCOVID-19対応・回復プログラム. Rome.

© FAO, 2020
CB0439JA/1/09.20